

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 野村医院	代表者	理事長 野村 和至	法人・事業所 の特徴	理念、命の輝きを利用者、地域社会、職員と共有する施設。高齢者を人生の先輩として敬意をもって接し、利用者の権利と意思を尊重し、安全・安心な支援。「善循環」法則を基盤に互いに協力し、問題解決を行い、組織として誠意ある支援。地域に開かれた施設。バイスティックの7原則に沿った支援。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 のむら陽光園	管理者	施設長 野村 繁利		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月の会議で各改善計画を議題にあげて、計画の進捗を確認、問題点の検討を行う。	毎月の会議で議題にあげて取り組むことができた。業務内容などを見直し改善している。個別評価の解釈に個人差があり摺合せが必要であった。	具体的な内容になるように心掛けられていることが分かった。	サービス評価前に個別評価の摺合せが行えるよう勉強会を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	物の置き場を決めて記名する。職員各々が整理できるようにする。	全体通してみれば整理整頓できるようになってきている。	特別気になるところはない。	記録物などの書類を整理する。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き、積極的な地域行事に参加させていただき、陽光園の行事のご案内もできるようにする。ひまわり広場での掲示板を再開する。	地域行事の開催は日曜日である。日曜日は職員の希望休が重なる傾向にあり職員の人数を十分確保できない場合がある。改善していかななくてはいけない課題である。	地域としてはお手伝い頂ける可能性あるが介護のプロというわけではないので事故やケガが心配されるができることはお手伝いできる。	地域行事の日はできる限り勤務調整をしてそれでも人数が足りない場合は地域と事前打ち合わせをして地域ボランティアを依頼させていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	商店や美容室など地域資源を活用した利用者の外出を計画する。	ご利用者のご希望通りに対応することができている。即日対応できない場合でも日を改めて対応できている。	ご希望が伺えない方でも、生活歴などを知った上で提案し選択・決定していただけるような対応ができると尚良い。	個別ケアの推進。外食や散策などを実施する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議外でも投書箱を活用して地域の意見を伺う。	投書箱でのご意見はなかった。 運営推進会議の役割 ・利用者の抱え込み防止 ・地域に開かれ場サービス ・サービスの質の確保 ・地域との連携 これをもとに会議の開催している。	特に意見はなし	運営推進会議で出た意見などを職員会議で取り上げ改善に努める。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の方と連携した防災訓練の実施をする。防災掲示板を用意する。	地域の方を交えた防災訓練は行われなかった。防災掲示板の他にガス発電機の導入を進めている。	地域との防災訓練を、段階を生んで行えるようにしたい。	防災訓練の際に実際に地域の方に陽光園連絡網で連絡する。